

デイケア通信 2024年10月号

プログラム紹介「一時救命」

9月は防災の日や救急の日などもあり、デイケアでも命の大切さを知って頂くために一時救命の体験を行いました。119番通報してから、救急車が到着するまでの時間は平均約10分だそうです。心肺停止から8分経過で救命の可能性は極めて低いと言われています。実際に一時救命が必要な場面に遭遇した際、我々は救急車が到着するまでの間「何をすればいいのか」を日本赤十字社の救命ビデオで学習し、救命用のマネキンを使用して実際に心臓マッサージの体験、その後はAEDの使い方なども学習しました。救急車が到着するまでの約10分間を想定し、3~4人1グループで順番に心臓マッサージを行いました。参加者の方からは「こんなに10分が長いとは思わなかった」「次の日筋肉痛になりました」「頑張ったら手の皮がむけました」との感想をいただきました。



参加した皆さんは熱心に取り組み、命の大切さを実感できたのではないのでしょうか。毎年1回はこういった体験をしていただき、万が一の時に役に立てればと思います。

🌸ありまこうげんホスピタル デイケア 桜の咲く丘